

令和4年度

筑波大学大学院

人文社会ビジネス科学学術院

ビジネス科学研究群

法学学位プログラム（博士後期課程）

入学試験問題

[外国語]

英語

(2021年9月実施)

[注意事項]

答案用紙は、2枚使用し、裏面は使用しないこと。

以下の文章（注及び標題等を省略している）について、問1から問5に答えなさい。

本文については、著作権法により
公表しておりません。

(Axel Walz & Kay Firth-Butterfield, "Implementing Ethics into Artificial Intelligence: A Contribution, from a Legal Perspective, to the Development of an AI Governance Regime", 18 *Duke Law & Technology Review* 176-231 (2019), pp. 195-198)

convalescence 〔病後の〕回復期

prosthetics 人工装具

問1 下線部①の These possible advantages とは何か、説明しなさい。

問2 ヘルスケアの領域で AI 技術を活用する上において生ずる倫理上の問題（下線部②）に対処するために筆者はどのようなアプローチが考えられるとしているか、説明しなさい。

問3 下線部③のいう立法上の措置について筆者はどのように考えているか、説明しなさい。

問4 下線部④を日本語に訳しなさい。

問5 問題文全体を日本語で、300 字程度で要約しなさい。

令和 4 年度

筑波大学大学院
人文社会ビジネス科学学術院
ビジネス科学研究群
法学学位プログラム（博士後期課程）

入学試験問題

[専門科目]

(2021 年 9 月実施)

[注意事項]

1. 問題のうちいずれか 1 問について 答えなさい。
2. 解答に当たっては、どの問題を選択したかを明示しなさい。
3. 選択した問題が明示されていない場合には、問題 1 に対する答えとして採点するので、注意すること。
4. 答案用紙は、2 枚使用し、裏面は使用しないこと。

問題 1

所得の源泉地国における課税方式について、ポートフォリオ投資から生ずる所得と直接投資から生ずる所得とに区分して論じなさい。なお、記載に当たっては、租税条約、源泉徴収の観点を含めるとともに 2 つの課税方式が存在する理由についても言及すること。

問題 2

コンピュータ・プログラムを、著作権および特許権で保護することの正当化根拠と問題点について論じなさい。